

★9月議会の開会は9月3日(月)「予定」です。今度は決算議会(平成18年度)なので緊張感の多い議会となります。また忙しくなります！

議員活動報告

(北町長)



自治体経営学会 第9期 自治政策講座IN札幌に参加しました。初日は「こども権利条例」の制定、「介護・福祉・医療」の連携で有名な、「奈井江町」の北良治町長の講演を聞きました。特に北町長は、まちの将来を決定する合併問題では町内の子ども達にも住民投票の投票権を与えました。そのために職員が中心となって「子どもにも理解が出来る市町村合併」についての資料、説明会を実施したことには感銘を受けました。

また町長の話聞いて、行政のトップとしての「明確な目標」と「リーダーシップ」を感じました。同町も苦しい財政状況ですが、「創意と工夫」をしながら行政運営しています。やはり行政は「トップの姿勢、指導力」が大切だと感じました。

(やすらぎの家)



その後、町内にある高齢者福祉施設「やすらぎの家」を視察しました。福祉先進国「フィンランド」の施設を参考にした建物で、随所に「人間としての尊厳」を重視した設備があり、話題となった「介護の質」について参考になりました。

2日目、3日目も「地方自治」「住民参画」について多方面からの講演があり、とても勉強になった3日間でした。尚、参加費のみ「政務調査費」を使用させていただきました。

和宏の独り言… ～議員・議会の質を高める～

各地で議会改革を進めようという議論が起こっています。私も同感であり、改善しなければならない事項が地方議会(八潮も含め)には山積していると感じます。

では、市民が求める議会改革は何か？一部に「議員を減らせ」「政務調査費を削減しろ」という議論がありますが、果たしてそれが議会改革に繋がるのかと思うと多少、私は疑問に感じます。

その事も議会改革の一つかもしれませんが、私は議員それぞれの資質を上げていくことが必要ではないかと思えます。例えば本市の政務調査費でも現状は一人あたり年間20万円です。図書購入や研修会など自分の見識を高めようと参加、購入すれば到底足りないのが現状です。(それでも一部の方は使いみちに困っている人もいるらしい?)

「こんな財政難なのに増額とは、けしからん！」と言う方もいると思いますが、私は金額の上限枠を決めて、どんな研修だったのか、終了後にレポート提出を義務付けする等の措置をして説明責任や透明性を高めていけば無駄な支出にはならないと思えます。(余ったら返還をする)

結果、そこで学んだ先進事例や解決策を、議員、議会として政策立案をして執行部に提案することも可能となり、本市の政策に反映すれば現状と比べてより効率的な行政経営が出来ると考えます。

私自身、議員としてまだ6年(9月で)の半人前です。(^^)議員になる前は政治の世界にいたわけでもなく、一社会人でした。まだ知らない分野、分からない事も多いですが、議員として働かせていただいて報酬(公費)を受け取っている以上、現在そして将来にむけて市民の負担を最小限にする責任が議員にはあると思ひ活動をしています。

これからも一歩、一歩、確実に、“質”を高めていきたいと思ひます。 和

★ 編集後記 ★
きんやのボヤキ
みなさん、こんにちは！「きんや」です。
先日、6月の給与明細書を見てビックリ！しました。(稼ぎが悪かった訳ではありません) こんなに住民税が上がるとは…。
これも地方分権の一つの「税源移譲」ですが、総務省の広告では「増額は地方へ」との説明でした。でも本場に地方の財源が潤うのでしようか…。
朝田議員も以前から「地方分権が進めば、進むほど地方自治体の力量が試される」と話していました。「我がまち八潮市は？」と思うと「大丈夫なの？」と心配しています。
「前例主義」などに縛られていては時代に取り残されてしまう危険性もあります。是非、市長を始め、行政職員の皆さんも創造性を活かして仕事に取り組んでほしいと思ひます。
朝田議員も頼むよ！
話は変わりますが、あと僅かで「参議院議員選挙」の投票日です。
各政党も「公約」を掲げて有権者の支持を仰いでいますが、私も今回は、じっくりと政策(マニフェスト)を重視して、本当に国民のために働く政党は？どれか判断をします。
「誰かやっても変わらない」「国会議員は信じられない」と諦めてしまっている人もいると思ひますが、国民自ら、政党や議員に「意思表示」出来るのが「選挙」です。つまり「投票すること」です。せっかく与えられた権利を無駄にしないよう「投票しましょう」
投票日は7月29日(日)です！当日都合が悪い方は期日前投票で！



Vol.15